

**第72回国体**  
**スケート・アイスホッケー**  
**長野**

— 第3日 —

第72回国体冬季大会「ながの銀福国体」スケート、アイスホッケー競技会第3日は30日、長野県内で熱戦を繰り広げた。青森県関係では、アイスホッケーの準々決勝で、成年男子が茨城に4-1で勝利。少年は埼玉に4-3と競り勝つてそれぞれ4強入りのした。

スピードスケートでは、少年男子1万円で村崎翔太（八学光星）が6位入賞。成年女子3000円で澤尻磨里英（八学光星）が決勝進出を決めた。

第4日の30日も長野県内で競技が行われる。アイスホッケーは準決勝が行われ、成年が東京と、少年は栃木とぶつか。スピードスケートの注目目にも青森県勢が登場。ショートトラックも競技が始まる。

（取材班）

# 村崎（光星）6位入賞

## 山本（西高）無念10位

スピードスケート



少年男子1万円で、6位入賞を果たした村崎翔太（八学光星）。

村崎は、昨年の国体の8位を回りの位に入った村崎翔太（八学光星）高（インター）上位の有力選手が転倒し、村崎が順位を押し上げ、村崎が上位に躍り出す。異軍入賞を果たした。

國のスピードは速かったけれど、根性を磨いて行って、今大会で優勝を獲られたが、結果には悔しい。上位に食い込むのが目標です。これから、思うような結果を残せたい。一定の成果を出せたい。最後は行って帰って来たい。少しは自分に余裕を持てるようになりたい。成長を感じた選手だった。

来年度は学生、集大成のシーズンに向け、自身のアシントではなく、自身の力で順位をもっと上げたい。今大会で自信を胸に、さらなる成長を誓った。

（取材班）

# 澤尻（八学）決勝へ 成年女子 3000

【成年女子3000円予選】1組1位で予選を通過した澤尻磨里英



○：成年女子の澤尻磨里に北海道代表で出場して、5000円に続いて3000円、2度目の国体出場。初めて青森県代表として臨む今大会だが、「前回は2人でチームを組んで戦ったが、今回は一人で自由に行きで乗り切りたい」と笑顔を見せた。白樺学園高時代「負いなく語った。

種目予選を通過できなかったが、「今まではブレッシャーもあったが、今回はレースを楽しむ気持ちで臨んでいる」と表情は明るかった。

昨夏は就職活動に専念したため、十分な調整ができていないまま大会に臨んだ。それでも青森県代表として、最後は国体に出場することを決めた。

高校ではインターハイで入賞するなど、将来を期待された。4月からは地元・八戸の企業に務める予定。「頑張る方向性が変わるだけ。これまでスケートで学んだことを生かしたい」とすがすがしい顔で語った。